

## 丘の上の休憩所 ティーダフラッグス 2019

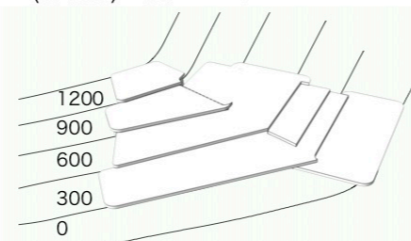
中城公園自然共生エリアにある、こどもたちが多く遊ぶこの場所において、どのような建物が適しているか考えた時、丘の傾斜に寄り添い、日射を有効に遮った、居場所をつくる事がふさわしいと考えました。現在も遊具前の傾斜には、思い思いに腰かけて、こどもを見守っていたり、弁当を皆で食べたりという風景がみうけられます。そのような人の振る舞いも、違和感なくそのまま、建物へ取り込むことができればよいなと考えました。トイレはどこからでも使いやいよう、広場の繋がりが分断されないよう、動線上に素直に配置する事や風通りと使い勝手を考慮し、閉ざす開くが効果的になるよう意識し計画しました。

### Diagram

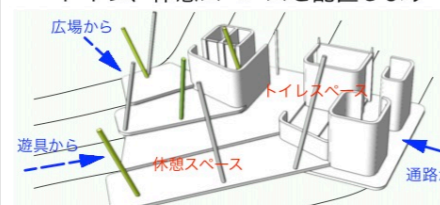
1 現状の敷地に、300mmの高さごとに等高線を引きます



2 等高線に沿って、階段状のプレート(居場所)を配置します



3 広場、遊具とのつながり、動線、西日対策等を考慮し、段差を活かしたトイレ、休憩スペースを配置します



4 日陰シミュレーションを行い、開放性、周辺環境との調和を考慮し、屋根を設置します

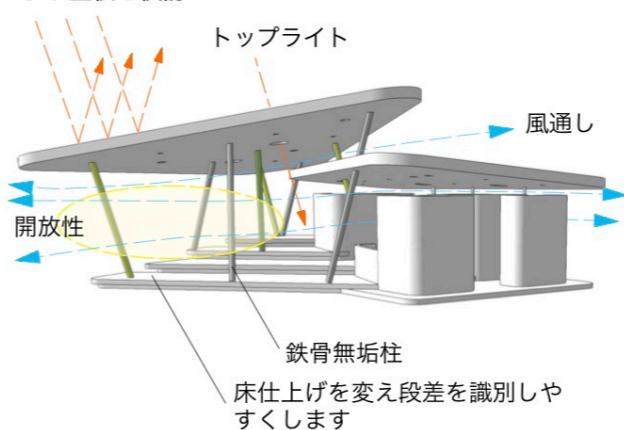


### 木陰のような空間

こども達を利用する公園施設なのでミニマルになりすぎないよう、楽しさを適度に表現しました。二枚の大屋根と傾いた柱、トップライトからのヒカリで木陰のような空間を計画しました。

#### RC屋根

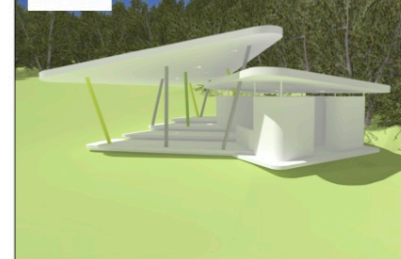
日射シミュレーションにより屋根を検討



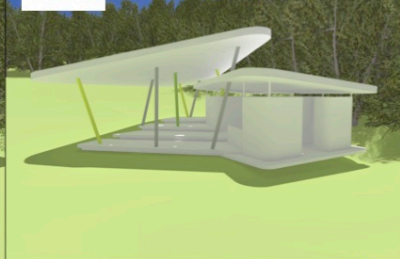
### 日陰シミュレーション

沖縄で年間を通して最も気温が上昇する7月の太陽高度をもとに日射シミュレーションを行い、屋根のサイズ、傾き、配置を検討しました。

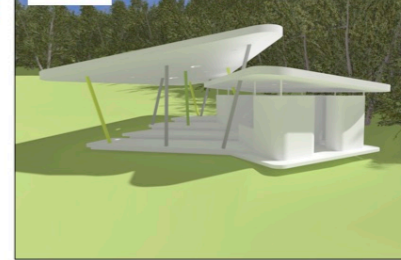
7月10時



7月13時



7月16時



冬至13時

